

令和5年度放課後等デイサービス自己評価結果(公表)

鹿嶋市総合福祉センター

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、改善内容など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>			利用定員に対し適切なスペースは確保されているが、活動内容によっては同じ敷地内にある老人福祉センターを利用している。
	②	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>			基準通り対応している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>			バリアフリー化されているが、建物の老朽化で修繕の必要がある箇所もあるので、必要度の高い場所から修繕をしていく。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>			年3回、会議を実施し相談体制の確認、見直しを行っている。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			アンケート調査により保護者の意向を把握し、出来る限り業務改善できるよう努めている。
	⑥	この自己評価の結果を、掲示したりホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			<input type="radio"/>	利用者や関係機関等からの意見を聞きながら、必要時業務の見直しを図ると共に、県指定外部評価事業所への依頼を検討していく。
適切な 支援の 提供	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>			施設内研修を実施し、また、外部研修の機会がある時は積極的に参加をしている。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	<input type="radio"/>			利用開始前に面接時間を設けて丁寧にアセスメントを行い、職員間で共通理解をもち適切な支援計画の作成に努めている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<input type="radio"/>			子どもの年齢や状態に合わせて発達検査等を行っている。
	⑪	職員間で、利用者の個別支援計画の内容を確認しているか	<input type="radio"/>			利用者の個人ファイルを作成し、職員が目を通せるようにしている。また、ケース会議も年3回実施している。
	⑫	子どもの状態に応じて課題をきめ細やかに設定して支援しているか	<input type="radio"/>			個別訓練相談を複数利用している方もいるが、それぞれ専門の分野での課題を設定して支援を行っている。
	⑬	指導内容の意図やねらい等保護者にその都度説明し、共通理解を図っているか	<input type="radio"/>			個別訓練相談終了後、説明をするようにしている。
	⑭	複数の個別訓練相談を利用しているケースは常に子どもの状況変化について職員間で連絡をとりあっているか	<input type="radio"/>			利用者の個人ファイルで情報を共有し、また、年3回ケース会議を利用して支援状況の確認をおこなっている。
	⑮	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	<input type="radio"/>			各担当の先生が記録をとっている。また、他機関とのやり取りの情報も記録し、職員間で共通理解がもてるようにしている。
関係機関 や保護者 との連携	⑯	定期的モニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	<input type="radio"/>			6ヶ月に一度、モニタリングの機会を設け、個別支援計画の見直しの必要性を判断している。
	⑰	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	<input type="radio"/>			
	⑱	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解に努めているか	<input type="radio"/>			保護者同意の元、関係機関と情報共有を行っている。また、必要に応じてケース会議を開き、共通理解を図っている。
	⑲	利用者が在籍している学校、放課後等デイサービス事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	<input type="radio"/>			保護者同意の元、関係機関と情報共有を行っている。また、必要に応じてケース会議を開き、共通理解を図っている。
	⑳	学校卒業し、障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	<input type="radio"/>			
	㉑	専門機関と連携し、助言を受けているか	<input type="radio"/>			関係機関と積極的に連絡を取り、連携した支援を行っている。
	㉒	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	<input type="radio"/>			ペアレント・トレーニングの研修等への参加は難しかったが、資格所持の心理相談員と連携し、保護者へのアドバイス時に活用している。今後は研修に参加し、取り入れていきたい。
	㉓	地域自立支援協議会等へ積極的に参加しているか		<input type="radio"/>		必要時、参加している。

保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	<input type="radio"/>		説明の内容が多く一度で理解していただくのは難しいので、その都度解りやすく丁寧な説明を心がけている。また、運営規程は施設内に掲示している。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	<input type="radio"/>		適切な助言ができるよう、利用者に関わる他職員の意見も聞きながら助言を行っている。
	㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	<input type="radio"/>		個別訓練相談は親子で来所するので、保護者と話す時間が確保できる。今後も、丁寧な関わりを行っていく。
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子供や保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	<input type="radio"/>		苦情解決受付を常時設置し、保護者等からご意見等があった場合は、迅速かつ適切に対応するよう努めている。
	㉔	個人情報に十分注意しているか	<input type="radio"/>		利用申請時に個人情報使用同意書を保護者から頂き、また、関係機関と連絡を取り合う時は、改めて保護者に伝え了承を得るようにしている。
	㉕	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	<input type="radio"/>		
非常時等の対応	㉖	緊急時対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか		<input type="radio"/>	保護者への周知に向けて、掲示や説明等の体制を整えていく。
	㉗	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	<input type="radio"/>		同施設内にある社会福祉協議会、シルバー人材センターと合同で年2回行っている。今後は、火災、地震、不審者等など様々な非常事態に対応できるような訓練も検討していく。
	㉘	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	<input type="radio"/>		虐待防止及び身体拘束に関する施設内研修を、年1回実施している。
	㉙	医療的ケアが必要な子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		<input type="radio"/>	親子通所であることから基本的には医師の指示書の提出を求めている。
	㉚	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	<input type="radio"/>		ヒヤリハットのあった際、ミーティング等で情報を共有し事故防止に努めている。